

ドイツ人宿泊者が8割増！欧州からの訪日外国人観光客受入れ態勢を強化！
「世界遺産 高野山」駅置きリーフレットの
ドイツ語版とスペイン語版を発行します

南海電鉄（社長：遠北 光彦）では、現在推進している中期経営計画「深展133計画」において「関空・インバウンド事業の拡大」を基本方針の1つに掲げ、様々な取組みを推進しています。

このたび、英語やフランス語など6言語で発行してきた駅置きリーフレット「世界遺産 高野山」にドイツ語版とスペイン語版を追加し、訪日外国人観光客の受入れ態勢を強化します。

高野山は、宿坊や精進料理など日本の伝統文化に親しめる地として欧州からの訪日外国人観光客に人気が高く、特にドイツからの来山者は増加傾向にあり、平成28年の高野山でのドイツ人宿泊者数が対前年比で8割増となっています。また、スペインからも宿坊やアクセスなどの問い合わせが増えています。このたびの2カ国語の追加で、来山者の満足度を高め、高野山の国際的観光地としての価値向上につなげたいと考えています。

詳細は以下のとおりです。

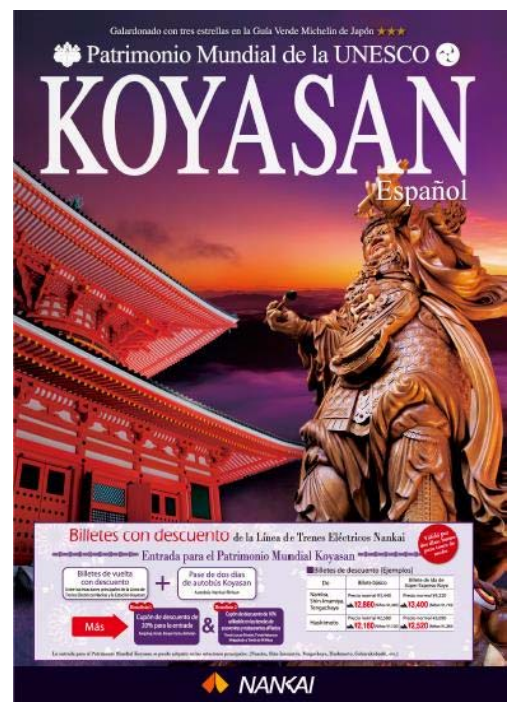
「世界遺産 高野山」ドイツ語・スペイン語版概要

- | | |
|----------|-----------------------------------|
| 1. 設置開始日 | 平成29年3月9日（木） |
| 2. 設置箇所 | 難波駅、新今宮駅、関西空港駅、高野山駅 |
| 3. 仕様 | A4サイズ 4ページ |
| 4. 記載内容 | 高野山内のマップや見どころに加え、高野山へのアクセス方法などを記載 |
| 5. 発行済言語 | 日本語、英語、フランス語、韓国語、中国語（繁体字・簡体字） |

〈ご参考〉

平成28年高野山外国人宿泊者数（推計値）	
ドイツ	5,500人（前年比182.0%）
スペイン	3,500人（前年比109.5%）
全世界	75,000人（前年比136.7%）

出典：高野町



表紙（スペイン語）
 ※他国語版も同様のデザイン